

## A グループ：中心市街地の活性化による・沼津の将来

沼津の中心市街地はこんな“まち”になったらいい

### 1. 安全で快適な交通手段がある“まち”

#### (1) 渋滞がなく駐車・駐輪しやすい

- ・ 駐車・駐輪がしやすい
- ・ 駅前が渋滞しない
- ・ 車で行っても便利
- ・ 大きな駐車場がある

#### (2) 公共交通が充実し、駅南北の交流が盛ん

- ・ 公共交通が充実している
- ・ 駅南北のつながりがある
- ・ 新幹線の駅からのアクセス性が高い

#### (3) 観光客や住民が、歩いて楽しい

- ・ 歩いて楽しい

### 2. 人を引き付ける商業地がある“まち”

#### (1) 特色のある個店が集積している

- ・ 食の機会が充実している
- ・ 特色のあるお店がある

#### (2) 魅力のある大規模な観光・商業施設がある

- ・ 楽しめる施設がある
- ・ 駅の近くに温泉がある
- ・ 映画をみる
- ・ 駅周辺に大規模商業施設がある
- ・ 消費者の動向に対応できている

#### (3) イベントが充実している

- ・ 魅力がある
- ・ にぎわいのイメージがある
- ・ イベントが充実されている
- ・ エンタメが充実している
- ・ イベントで活性化している

### 3. 美しい景観や憩いの場がある“まち”

#### (1) 富士山や狩野川の美しい景観がある

- ・ 観光スポットがある
- ・ 美しい景観・富士山がある
- ・ 川が活かされている

#### (2) 気軽に利用できる公園等がある

- ・ 公共施設が誰にとっても利用しやすい
- ・ 公園とその周辺が充実している
- ・ 憩いの場がある

## 4. 機能が集約して利便性が高い“まち”

---

### (1) まちの機能が集約している

- まちの機能が集約している

- 利便性が高い

### (2) あらゆる世代が楽しむことができる

- 子どもが楽しめる
- 子育て世代向けになっている
- 高齢者が過ごしやすい

- 高校生が楽しめる
- 若者が楽しめる場所である

## 5. 魅力的な情報が発信されている“まち”

---

### (1) マップや SNS を通じて情報発信が行われている

- 中心市街地の情報発信ができています
- 中心市街地のマップ・モデルコースがある

### (2) スポーツやアニメを通じた“ファン”が集まる場所がある

- アスルクラロの試合に人が集まっている
- ラブライブ！（アニメ）を活かしている



## 中心市街地が元気になったら沼津はこうなるんじゃない？

### 1. 交流のあるまちになる

- 沼津港のにぎわいをつなげる
- 駿河湾やまち中の緑を活かしたまち～ガーデンシティ～になる
- 海・駿河湾を満喫できるまち
- イベントがたくさん行われているまち
- 若い人が気軽に観光に訪れる事のできるまち（バスツアー）



### 2. 元気な産業のあるまちになる

- 就業・創業の場がある
- ベンチャー系起業を支援する



### 3. 定住人口が増える～子育てしやすいまちになる

- 定住人口が増える
- 人口を確保すること
- 子育てしやすいまちになる
- 保育園に預けることができる
- 子どもの安全が確保されている



### 4. 市民が元気なまちになる

- 学生が元気なまちになる
- 観光客と住民が共に満足できるまちになる
- ボランティア活動などが気軽にできるまちになる
- 高齢者が活躍できるまちになる



#### 市長コメント

素晴らしい発表だったと思います。観光、それから人、景観を大事にする。定住人口を増やしていく。そのためには若い人もお年寄りも住んでいて、楽しい元気なまちにしていく。こういう事を私も考えているのですが、皆さんの発表はそこにさらに項目を入れていただき、サブ項目でより具体的に補強していただいた。是非参考にさせていただき、市の施策に取り入れていきたいと思えます。

# Bグループ：南北の都市軸を活かすことによる・沼津の将来

## 南北方向の都市軸強化に必要なこと

### 1. 拠点の強化に必要なこと

#### (1) 各拠点の役割分担の明確化

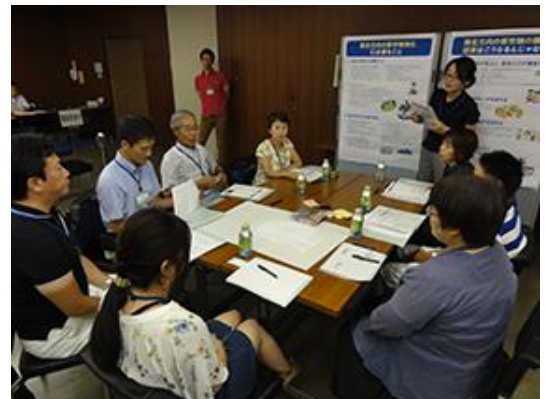
- 南部は観光拠点を充実させたい
- 高速道路周辺はもっと産業で頑張りたい
- 駅周辺地区は都市機能を強化させたい
- 生活拠点は市民生活を最優先に考えたい

#### (2) 各拠点の充実

- 北（愛鷹）のレクリエーション拠点を充実させたい
- 駅北エリア（ぐるめ街道・市立病院周辺）の活性化を図りたい
- 沼津駅周辺地域は渋滞を解消させ利便性を向上させたい
- 沼津港はグルメ以外の魅力も向上させたい
- 三津・戸田のにぎわいづくりとPRを図りたい
- 沼津市各所の魅力を市民と行政が協力して発信したい
- 商業・産業のまちとして頑張りたい
- 拠点に観光案内所の設置

#### (3) 拠点内の利用しやすさの向上

- 生活道路を使いやすくしたい
- 渋滞を解消させたい
- 自転車で移動しやすくしたい
- 観光のために道路をきれいにしたい



### 2. 拠点を支える交通の強化

#### (1) 南北道路の利便性の向上

- 南北道路の整備を進める
- 道路のユニバーサルデザイン化を図る
- 渋滞を解消させる
- 幹線道路沿いの商業施設を誘致する

#### (2) まち全体の交通網に配慮した駐車場の整備

- 駐車場の整備と利便性UPを図る
- まち全体でみた駐車場の充実を検討する

#### (3) 公共交通の充実によるアクセス性の向上

- 海上交通の活用を図る
- 使いやすいバス路線にする
- 多様な交通手段で南北ネットワークを支える
- 市民も観光客も利用しやすいものとする
- 拠点からのバスの使いやすさUPを図る



## 南北方向の都市軸強化で沼津はこうなるんじゃない？

### 1. 交通手段の充実によりどこにでもアクセスしやすくなる

- 南北に移動しやすくなる
- 公共交通機関が拠点間をうまくつないでいる
- 誰もがどのような交通手段でもフットワークよく楽しめる



### 2. 商業のにぎわいが生まれる

- 地域経済により循環が生まれる
- まちのブランド力がアップする

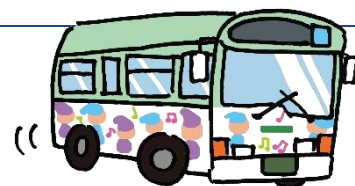
### 3. 観光による交流が生まれる

- 子どもからお年寄りまで誰もが楽しめるまちになる
- 県内外、地元からの観光客が増加する
- まちの自然や魅力が感じられ、何度でも行きたくなる



### 4. 市民生活が向上し、定住人口が増加する

- 施設やサービスが充実し、市民生活が便利なまちになる
- 市民が地元を楽しめるようになる
- 若者やファミリー層の人口が増加する
- 駅周辺の利便性が向上する
- 日常生活の利便性向上と休日のレクリエーションの充実が両立できるまちになる
- 交通事故が減る



#### 市長コメント

Aグループもそうでしたが、皆さんの話しを聞いていると、市でも今後どのようにやっていくかという議論をしていますが、（その議論に）一緒になって加わっていただいている様な錯覚に陥ります。市民の方が市政に興味を持つ、そして色んな提案を言ってくださるのはとても良いことで、今回この会議を行って本当によかったと思います。

沼津の中で拠点を明確にしていく、例えば、（仮）ららぽーとから沼津駅～駅周辺の商店街～港。そこまで考えると、港から南の交通が欲しくなります。そこから生まれた考えで、今年は海上タクシーをやってみようと思ってきました。まさに拠点性を考えることによって点が線になり面になっていく、そのことを市民全員で組み立てていくことが一つの大きな市を作っていく戦略になると思いました。

市民の方が住みよいまちにすることが大事です。10月1日から子ども医療費が無料となりますが、ご高齢の方が住みよいまちとなるには具体的にどういうことなのか、皆様からご意見・アイデアをいただきたいと思っています。沼津は県東部の中心のまちです。私たちの為には楽しいまちにしたいと思いますが、周りの人にとっても楽しいまちであるようにする責任が私たち市民にはあると思うのです。今回はそんな事も意識させて頂けるような話でした。

# Cグループ：豊富な観光資源を活かすことによる・沼津の将来

## 観光資源活用のために重要なこと

### 1. 既存の観光資源を磨き上げる

#### (1) 海（深海）の魅力

- ・三浦、三津の海を活かし観光を進める
- ・深海（世界一深い湾）を活かす
- ・深海水族館を活かす
- ・海の上を使う

#### (2) 歴史・文化の魅力

- ・御用邸を活かす
- ・千本浜などの海岸活性化

#### (3) 富士山などの景観の魅力

- ・愛鷹の自然を活かした観光を進める
- ・門池公園の自然や景色を活かした観光を進める
- ・原、片浜地域の海、富士山、田舎の景色を活かした歩く観光を進める
- ・海や山、ナイスビューを満喫できる観光ルートを設定する
- ・香貫山、沼津アルプスをハイキングコースとして充実する

#### (4) 食の魅力 他

- ・沼津のグルメを楽しめる観光ルートを設定する
- ・まち中のイベントのやり方を再考する
- ・庶民の食べ物、B級グルメを開発し、食でつなげていく

### 2. 観光しやすい基盤を整える

#### (1) 楽しみやすい観光地づくり

- ・駅や港の分かりやすい場所にレンタサイクル、コンシェルジュサービスを設置する
- ・子どもの利用しやすさを含めて考える必要がある

#### (2) 選びやすい観光コース設定

- ・用途・時間に応じたコースづくりをする
- ・沼津版「はとバス」をつくりたい
- ・観光HPに診断式チャートを作成する
- ・チェックポイントにおいて携帯端末で利用可能な観光情報等を提供する

### 3. 情報を発信する

#### (1) ロケ地の誘致・ロケ地巡り

- ・ロケ地を誘致する
- ・ロケの活用
- ・グルメ、ロケ地、海、富士山、水、カフェなどを観光に活かす
- ・ラブライブ！（アニメ）の聖地を巡礼するルートを設定する

- ラブライブ！と連携する
- ラブライブ！で要素をつなげていく
- 聖地巡礼のコースづくり
- ラブライブ！仕様のホテルがあるといい
- アニメファンの方はマナーがいい！

### (2) 入手しやすく分かりやすい情報

- フォトジェニックな景色やグルメ、スポットなどを回る SNS ルートを設定する
- HP や行政放送、広報紙等を用いた情報発信の強化
- 年間イベントスケジュールと月間おすすめ観光コースを作って周知する
- アクセス数が向上するよう効果的にウェブサイトを活用する
- シンプルで分かりやすい情報発信

### (3) マスコミなどを活用したシティプロモーション

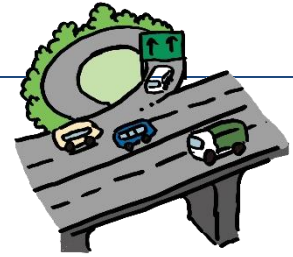
- マスコミをうまく利用する
- 旅行会社をうまく活用する
- 著名人に PR してもらう
- 強豪スポーツチームを育成する



## 観光資源を活かすことで沼津はこうなるんじゃない？

### 1. 交通が便利になる

- 交通が便利になる
- 市民も観光客も過ごしやすい



### 2. 経済が活性化する

- 経済的に豊かなまちになる
- 経済が活性化する
- 職・雇用の確保

### 3. 交流人口が増加する

- 交流人口の増加
- 若者にいっぱい来てもらえる
- 外国からの来訪者が増える
- 観光客が増える
- 研究者が集まる

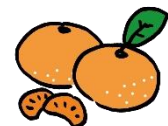


### 4. 定住人口が増加する

- 定住人口の増加
- 移住・定住が増える
- 楽しいまちになる
- 子育てしやすいまち
- 自然と触れ合えるまち

### 5. 市のイメージがアップする

- 沼津のイメージアップ
- 市のイメージアップ
- 市民から情報発信
- 観光都市としてブランド力を向上させる



#### 市長コメント

広く、色々な観光資源が点在している、それが皆さんから見た大きな特徴でした。

また、SNSという言葉もありましたが、紙媒体と今のインターネット媒体を上手く組み合わせたらいいのではないかということ。キーワードで凄く大事だと思ったのだが、「市民が発信する」ということです。市のHPは元ネタであって、例えば東京の人などに「こういうのがある、是非沼津に来て」というのは、市役所よりも元ネタを見た20万人の市民がみんなで協力して情報発信すれば凄い勢いになると、そういうことをおっしゃっているのだと思いました。市役所が元ネタを作るとしても、それを発信して人を呼び寄せたり、「まちで今度こんな制度ができた」と人を呼んだりするのは、みんなで一緒にやっていくことかもしれない。そんな風に思いました。



## 意見交換

統括F＝統括ファシリテーター

### ～AグループからCグループまで聞いていて重要だと思った箇所～

参加者④：「市民が市に興味を持つ事」の話をBグループからしました。今回の会議に参加したことをきっかけに沼津市が発行している色々なパンフレットを読んだことで、改めて私自身も市政に対して無関心だったと思っています。A～Cグループまでいろいろな提案がされているが、単純に「問題点」として提案されている事項は、それぞれ『沼津市中心市街地まちづくり計画』、『第4次沼津市総合計画』の中に盛り込まれており、我々が知らないだけです。知らないから興味を持たないのだと思います。こういう機会を通じて市民の皆さんに「こういうことなんだよ」と発信すること、これが非常に大切かと思います。

市長：今日の皆さんのご提案を参考にさせていただき、これが来年度の活動の要になると思います。ご提案されたことをどうしようかと考え、それが今度は予算という形になって表れます。

是非市政に参加していただき、今後は予算にも興味を持っていただけると嬉しいなと思っています。

統括F：4回の会議を通して、「市内にそんなところがあったのか」「市でそんなことをやっていたのか」という参加者の気づきが多かったように感じています。一方で皆さんの説明を聞いていると、意見交換をする中で、いつの間にか専門家に近くなっていると感じました。「市民が市に興味を持つこと」はすごく大切で、この会議のプロセス自体が非常に有効な役割を果たしていたかなと思います。今後は参加者の皆さんからプロセスや考え方・方法を幅広く市民の方々に広めてもらうような機会があるといいと思いました。今回皆さんから出された意見は1,000個位になっています。予算化もそうですし、更に長期をみた基本計画とか市の総合計画に上手く活かしていければいいと感じました。

### ～全体を通じた感想～

参加者④：沼津にはまだ10年位しかいないのですが、今回この会議に参加させていただき、沼津のポテンシャルは高いと感じました。沼津は観光地としても、周りの都市よりバラエティに富んでいます。ブランド力を発信することが重要で、行政と我々市民が双方から発信することにより、人が集まり、沼津市は発展していくのではないかと思います。

市長：市のHPで年齢別や地区別などの様々な形で毎年の人口を見ることができ、1か月毎の転出・転入の状況も分かります。それぞれの地区に大きなアパートやマンションができたときに多くの方が転入していますが、市全体で一様に少しずつ転出しています。転出理由のアンケートをとると「仕事の関係」が多いですが、心の中には色々な沼津の住みやすさが影響しているのは間違いないと思います。先程1,000個も意見が出

てきていると伺いビックリしましたが、このような会議を今後も開催し、それを市政に活かしていくことができたらどんなにいいかと思いました。一緒に沼津を元気にすることに参画していただきたいと思うし、今回参画していただき感謝します。

参加者◎：私は「市民が元気なまち」になることが一番大事だと思っていて、これは皆さんも一緒だと思います。私たち若者に対して具体的な政策や取りたい構想があったら伺いたいです。

市長：先日、プラサヴェルテで「高校生しゃべり場」が開催されました。高校生が「しゃべり場グループ」を作成し、公開の場でディスカッションをします。そこで高校生の皆さんから出された沼津を元気にするためのアイデアの中に、「高校生市役所」を作ったらいいのではないかといいものがあり、それは面白いと思い、具体的にどうやろうかと考えているところです。皆さんも良いアイデアがあったら教えてください。

参加者⑩：今言われた「市民が元気なまち」になれば一番良いと思います。若い人はもちろん大事ですが、高齢者が活躍できるまちになるところが大事。高齢者でもまだまだ元気でいろいろな才能・力を持っている方がいます。例えば、放課後児童クラブに人が足りないのであれば、私ならいくらでも小学生の勉強や遊びの相手とかやってあげられる。だけど、そういった場が公に出ていない。高齢者がボランティアで子どもたちや若い人の手助けができる場があれば、いくらでも手を挙げる方はいると思います。

市長：とても素晴らしいアイデアだと思います。私は沼津のシニアの方はとても元気だと感じています。現在沼津市には、28の連合自治会があり、そこにある自治会の数は全部で293です。そこには293人も自治会長さんやその他多くの役員さんが様々な役割を担っています。そういった中も含め、ご高齢の方も参加していただけるような色々な機会をオープンにしていきたいと思います。

統括F：行政の状況も分かりながら、高校生の活動や高齢者の活動を支援しているNPO的な団体もありますので、そういったインターメディアリー（中間支援組織）としての役割の市民団体の方々が、市役所と市民の間に出てきてくださると凄く良いと思いました。

情報発信にもそういうところが多々あり、市が情報発信をするのは当然なのですが、市民がどういう情報を望んでいるのか、市外の方はどういう情報を望んでいるのかというのは、むしろ市民の方々、民間の企業の方々の方がわかりやすくやっていますので、情報発信の仕方・役割分担についてコンソーシアム（共同体）のようなものを作ってやっていったらいいと思いました。今後、是非検討いただけたらと思います。